

MS5100

Eclipse™ シリーズ

取り付けおよびユーザー・ガイド

免責条項

Honeywell International Inc. (HII) は、本書に記載されている仕様およびその他情報を予告無く変更する権利を有し、読者はどのような変更がなされたかについては HII に確認する必要があります。本書に含まれる情報は、HII の責務を表すものではありませんのでご注意ください。

HII は以降に記す技術的または編集上のエラーや脱落について責任を負いません：取付け、性能、または本書の使用による突発的かつ間接的なダメージ。

本書には、著作権によって保護された情報が含まれており、全ての権利を留保します。事前の書面による HII の承諾なしに本著作の一部をいかなる形式または手段にても複写、複製、または翻訳することを禁じます。

© 2009 Honeywell International Inc. All rights reserved.

ウェブサイト：www.honeywellaidc.com

商標

Omniplanar、SwiftDecoder、Metrologic、MetroSet2、EasyID および TotalFreedom は、Metrologic Instruments, Inc. または Honeywell International Inc. が所有する商標または登録商標です。

Microsoft、Windows 95 および Windows は Microsoft Corporation が所有する登録商標です。

IBM は International Business Machines Corporation が所有する商標です。

本書に記載されているその他製品名についても、各自企業の商標または登録商標であり、所有権を有する場合があります。

特許

41 ページの特許一覧をご参考してください。

目次

目次.....	i
まえがき.....	1
製品概要.....	1
基本キットの構成.....	2
オプション・アクセサリ.....	2
MS5145 各部名称・説明.....	4
メンテナンス.....	4
注意事項とシリアルナンバーラベル.....	5
ケーブルの取り付けと取り外し.....	6
取り付け.....	7
RS232、ライトペンおよびレーザー・エミュレーション.....	7
RS485.....	8
キーボード・ウェッジ.....	9
スタンド・アローン・キーボード.....	10
USB:低速USB (-38).....	11
全速USB (-40).....	11
スキャナの操作.....	13
操作モード.....	13
音声インジケータ.....	14
視覚インジケータ.....	15
故障モード.....	16
バーコード分解能別読取深度.....	17
トラブルシューティング・ガイド.....	19
製品仕様.....	23
アプリケーションとプロトコル.....	25
設定とアップグレード.....	27
設定モード.....	27
ファームウェアアップグレード.....	30
スキャナとケーブル端末.....	31
スキャナ・コネクタのピン割り当て.....	31
スキャナ・コネクタのピン割り当て.....	32
ケーブル・コネクタのピン割り当て.....	33
ケーブル・コネクタのピン割り当て.....	34
限定保証.....	35
法的遵守.....	37
安全性.....	37
EMC.....	38

特許.....	41
インデックス.....	42
カスタマーサポート.....	45
技術サポート.....	45
製品修理サービス.....	46

まえがき

製品概要

MS5145 Eclipse™ はシングル・ラインのハンドヘルド・レーザー・スキャナです。

Eclipse™ はハネウェル社の特許製品である CodeGate®機能を特長としています。ボタン一つの簡単な操作でバーコードを読み取り、そのデータを簡単に送信します。バーコード・メニューの読取、POS レジ、ドキュメント処理、在庫管理等を含むあらゆるアプリケーションに理想的な製品です。

MS5145Eclipse™ はハネウェル社最高の読取技術を内部に搭載しており、通常の CCD スキャナと比べて読取距離が長く、幅広い読取範囲を持っています。スキャナをバーコードから遠く離せば離すほど読取ラインの幅は広がり、バーコードを容易にブ確保する様レーザービームが鼓動します。また、スキャナがバーコードを感知 (CodeSense®) すると、レーザー光は自動的に読取モードに切替り、CodeGate 機能が働き、高速で正確な読取を可能にします。

本商品にはユーザーで設定可能な Flash ROM、交換可能な PowerLink ケーブル、MetroSelect 設定バーコードガイド、MetroSet®2 設定ユーティリティ、そしてデータ編集 (構文解析) 機能などが標準として搭載されています。

型番	インターフェース
MS5145-00	レーザー・エミュレーション
MS5145-11	RS485 [◆] 、RS232-TXD、RXD、RTS、CT S
MS5145-14	RS232-TXD、RXD、RTS、CTS、DTR、DSR
MS5145-38	TTL RS232 低速 USB、キーボード・エミュレーションまたはシリアル・エミュレーション*
MS5145-40	全速 USB
MS5145-41	RS232/ライトペン・エミュレーション
MS5145-47	キーボード・ウェッジ、スタンド・アロン・キーボードと TTL RS232 転送/受信

* キーボード・エミュレーション・モードまたはシリアル・エミュレーションを設定することができます。デフォルトの状態ではキーボード・エミュレーション・モードとなっています。

◆ IBM ホストアプリケーションに適用可能です。

基本キットの構成

型番	説明
MS5145	Eclipse スキャナ
00-02544	MetroSelect シングル・ライン設定ガイド*
70-79016	MS5100 Eclipse シリーズ 取り付け及びユーザー・ガイド*

* www.honeywellaidc.com から設定ガイド等マニュアルをダウンロードすることができます。

オプション・アクセサリ

型番	説明
交流(AC)から直流(DC)電力変圧器—調整 5.2V@1A 出力	
46-00525	90V - 255V アメリカ・カナダ・日本仕様
46-00526	90V - 255V ヨーロッパ仕様
46-00527	90V - 255V イギリス仕様
46-00528	90V - 255V オーストラリア仕様
46-00529	90V - 255V 中国仕様
46-00530	90V - 255V インド仕様

現在使用されている特定のプロトコルに合わせて、その他アイテムもご注文いただけます。別のアイテムを注文される場合は、お近くのディーラー、販売代理店あるいはサービスセンターにご連絡下さい。問合せ窓口については、45 ページを参照してください。

型番	説明
55-55000x-3	電源ジャック内蔵のRS232 PowerLinkケーブル 長いストレイン・リリーフ付き 黒色ストレート・ケーブル
55-55002x-3	電源ジャック内蔵のキーボード・ケーブル 長いストレイン・リリーフ付き 黒色ストレート・ケーブル
55-55020x-3	電源ジャック内蔵のスタンド・アローン・ケーブル 長いストレイン・リリーフ付き 黒色ストレート・ケーブル
55-55235x-N-3	USB低速 通信ケーブル タイプA 長いストレイン・リリーフ付き 黒色ストレート・ケーブル
55-55200x-N-3	USB全速ケーブル ロック式 Plus-Power™ タイプA 長いストレイン・リリーフ付き 黒色ストレート・ケーブル Note : 全速USB (-40) インターフェースのみ対応しています。
MVC**	RS485 対応 MVCケーブル ±12VDC ~ +5.2VD
** MVCケーブルシリーズ及びホスト接続の対応については、お近くのカスタマーサービスの担当者にご連絡下さい。	
46-46633	スキャナ・スタンド

現在使用されている特定のプロトコルに合わせて、その他アイテムもご注文いただけます。別のアイテムを注文される場合は、お近くのディーラー、販売代理店あるいはサービスセンターにご連絡下さい。問合せ窓口については、45ページを参照してください。

MS5145 各部名称・説明

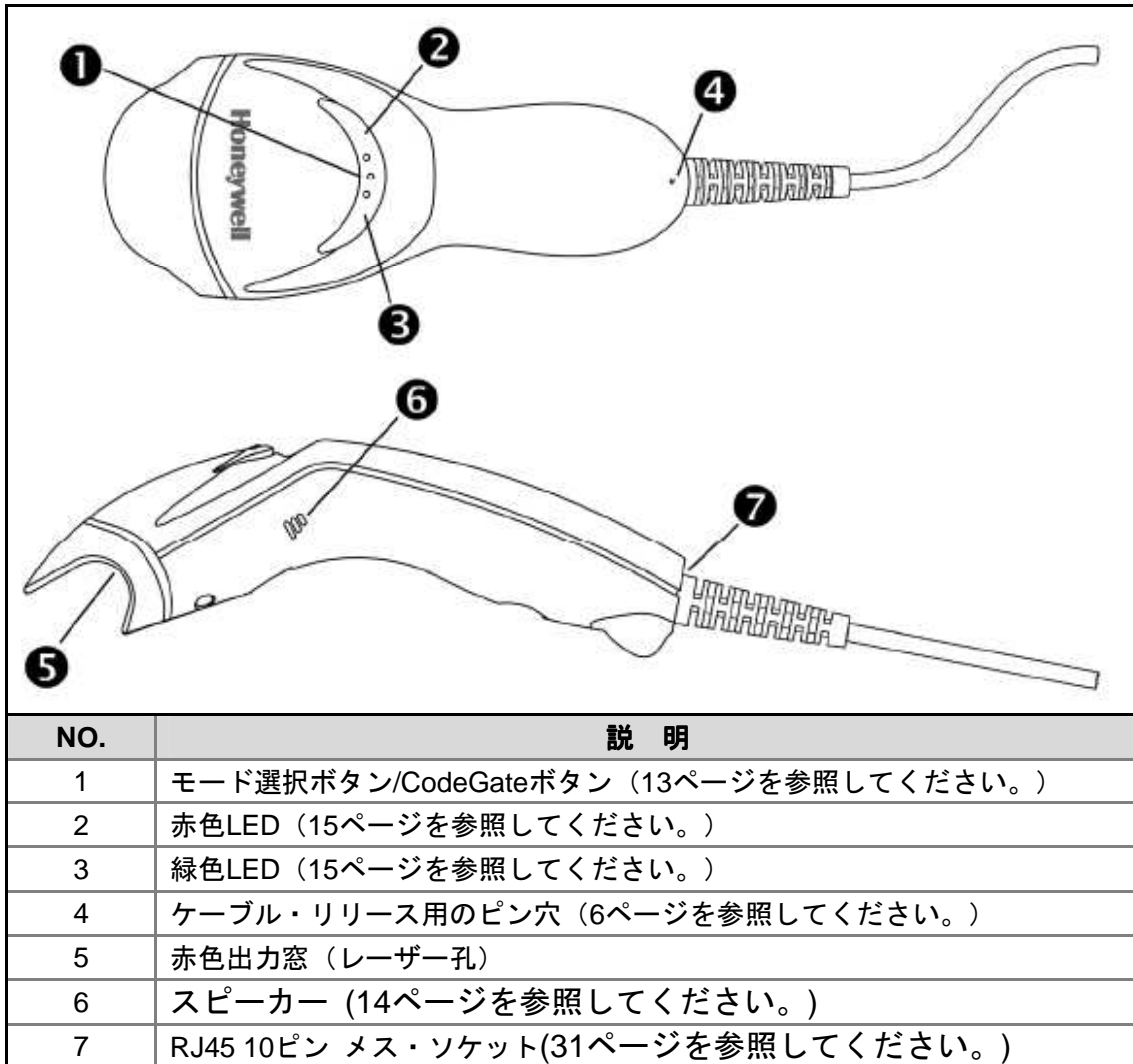


図 1：スキャナの各部名称・説明

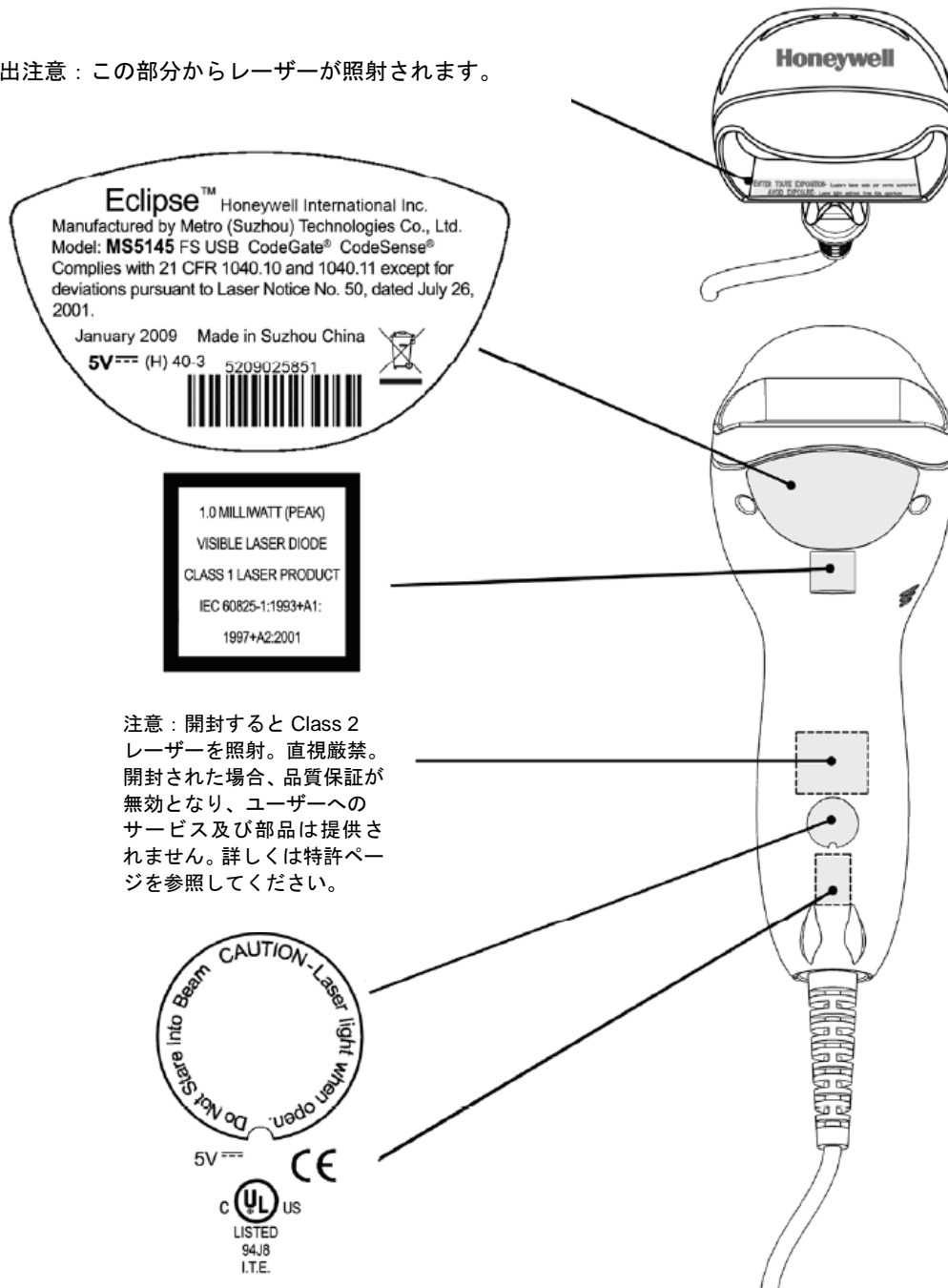
メンテナンス

ウィンドウのしつこい汚れおよび埃は、スキャナの性能を低下させる恐れがあります。ウィンドウを清掃する場合、アンモニアを含まないマイルドなガラス・クリーナーのみを使用し、糸くずや研磨材の無い布に噴き付けてからをそっと拭いて清掃ください。

スキャナの外側ケースを清掃する場合は、酸化作用の強い化学成分が入っていないマイルドな洗剤を使用してください。洗剤が強すぎると、ケースが変色するなどのダメージを受けることがあります。

注意事項とシリアルナンバーラベル

露出注意：この部分からレーザーが照射されます。



注意：開封すると Class 2 レーザーを照射。直視厳禁。開封された場合、品質保証が無効となり、ユーザーへのサービス及び部品は提供されません。詳しくは特許ページを参照してください。

図 2：スキャナ底部ラベル位置の表示

注意： 該当する規格への適合を維持するため、スキャナに接続される回路はすべて、EN/IEC 60950-1 に従って安全特別低電圧 (SELV: Safety Extra Low Voltage) の要件を満たさなければなりません。

規格 CSA C22.2 No. 60950-1/UL 60950-1 および EN/IEC 60950-1 への適合を維持するため、電源は、制限付き電源の該当する性能要件を満たす必要があります。

ケーブルの取り付けと取り外し

取り付け

1. ケーブルのコネクタをスキャナのジャックに挿入してください。
2. ケーブルのストレイン・リリーフ部分を緩やかに引き、完全にケーブルが取り付けられているか確認してください。

Note : PowerLink ケーブルは完全に取り付けられていない場合、間欠的に電力を供給します。

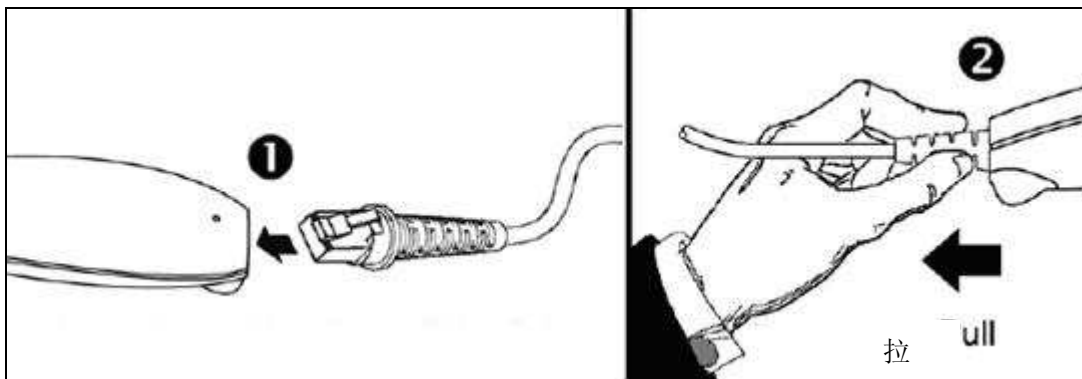


図 3

取り外し

ホストシステムケーブルを取り外す前にホストシステムの電源を切り、PowerLink ケーブルに電源が供給されていないことを確かめてください。

1. スキャナの上側にある小さなピン穴を見つけてください。
2. 普通のクリップを下図に示すような形に曲げてください。
3. クリップ（またはその他小さな金属のピン）を小さなピン穴に挿入します。かすかな「クリック」音が聞こえます。
4. ケーブルのストレイン・リリーフ部分を緩やかに引けば、ケーブルをスキャナから取り外すことができます。

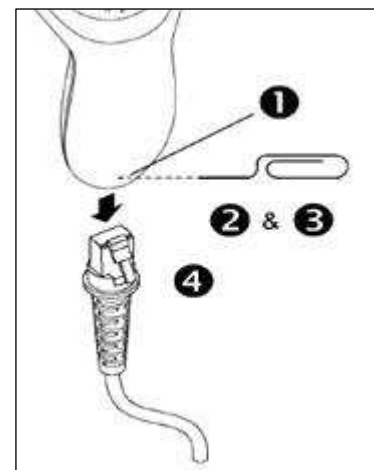


図 4

取り付け

RS232C、ライトペンおよびレーザー・エミュレーション

1. ホストシステムの電源を切ってください。
2. PowerLink ケーブルの 10 ピン RJ 145 コネクタをスキヤナのジャックに接続します。
3. PowerLink ケーブルの 9 ピンコネクタをホストシステムの通信ポートに接続します。
4. 外部電源のプラグを PowerLink ケーブルの電源ジャックに差し込んでください。
5. 電源の AC 入力要件を確認し、電圧が AC コンセントに一致しているかどうかを確認してください。コンセントは装置の付近にあり、簡単に届くようであればなりません。
6. AC 電源を変圧器に接続します。
7. ホストシステムの電源を ON にしてください。

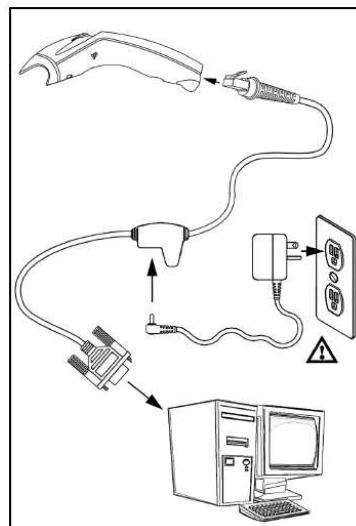


図 5 RS232C、ライトペンおよびレーザー・エミュレーション

動作注意

- スキヤナをホストシステム上のシリアル・ポートに差し込んだとしても、読取られた情報がホストシステムに正しく伝送されることが保証されるわけではありません。適切に通信を行うためには、ソフトウェア・ドライバや正しい通信設定が必要な場合があります。
- ホストシステムから MS5145 に直接電力が供給されている場合、スキヤナもしくはコンピュータの作動に電波障害が起きることがあります。全てのコンピュータが同一の電流を供給しているわけではありません。よって、外部からの電源供給を勧めます。詳しくはお近くの販売事務所までお問い合わせ下さい。
- 全ての MS5145-00 スキヤナはレーザー・エミュレーション・モードが有効の状態出荷されます。スキヤナを再設定している間にデフォルトに戻す設定バーコードを読み取ると、レーザー・エミュレーション・モードが無効になってしまいます。レーザー・エミュレーション・モードを有効にする場合は、MetroSelect Single-Line Configuration Guide の MS5145-00 レーザー・エミュレーション・モードを参照してください。



5 ページの注意事項をお読みください。

RS485

1. ホストシステムの電源を切ってください。
2. MVC ケーブルの 10 ピン RJ145 コネクタをスキャナのジャックに接続します。
3. MVC ケーブルのもう一方のコネクタをホストシステムのコネクタに接続します。
4. ホストシステムの電源を ON にしてください。

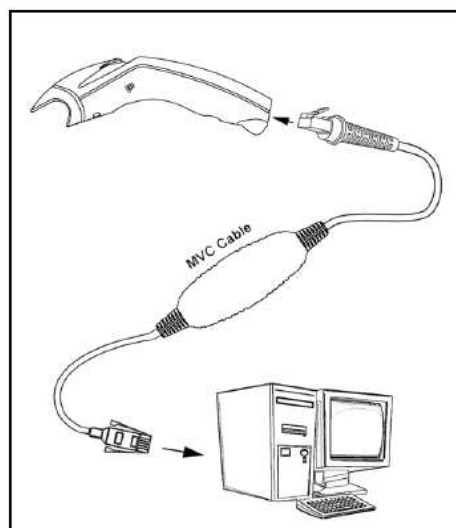


図 6:RS485



5 ページの注意事項をお読みください。

キーボード・ウェッジ

1. ホストシステムの電源を切ってください。
2. PowerLink ケーブルの 10 ピン RJ 145 コネクタをスキャナのジャックに接続します。
3. キーボードとホストシステムおよび PC との接続を切ってください。
4. PowerLink ケーブルの Y 型コネクタをキーボードとホストシステムのキーボード・ポートそれぞれに接続してください。必要の場合、同梱のアダプター・ケーブルを使用してください。
5. 外部からの電源プラグを PowerLink ケーブルの電源ジャックに接続してください。
6. 電源の AC 入力要件を確認し、電圧が AC コンセントに一致しているかどうかを確認してください。コンセントは装置の付近にあり、簡単に届くようであればなりません。
7. AC 電源を変圧器に接続します。
8. ホストシステムの電源を ON にしてください。

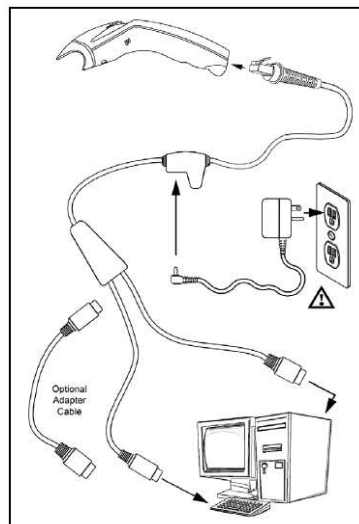


図 7：キーボード・ウェッジ

取り付け説明

ホストシステムから MS5145-47 スキャナに直接電力が供給されている場合、スキャナもしくはコンピュータの作動に電波障害が発生することがあります。全てのコンピュータがキーボード・ポートを通じて同一の電流を供給しているわけではありません。従って、あるコンピュータではスキャナが作動しても、他のコンピュータでそれが作動するとは限りません。外部からの電源アダプタが必要な場合は、お近くの販売事務所にお問い合わせ下さい。



5 ページの注意事項をお読みください。

スタンド・アローン・キーボード

1. ホストシステムの電源を切ってください。
2. 10 ピン RJ 145 コネクタをスキャナのジャックに接続します。
3. 電源アダプタのプラグを PowerLink のスキャナの電源ジャックに接続します。
4. 電源の AC 入力要件を確認し、電圧が AC コンセントに一致しているかどうかを確認してください。コンセントは装置の付近にあり、簡単に届くようであればなりません。
5. PowerLink ケーブルをホストシステムのキーボード・ポートに接続します
6. ホストシステムの電源を ON にしてください。

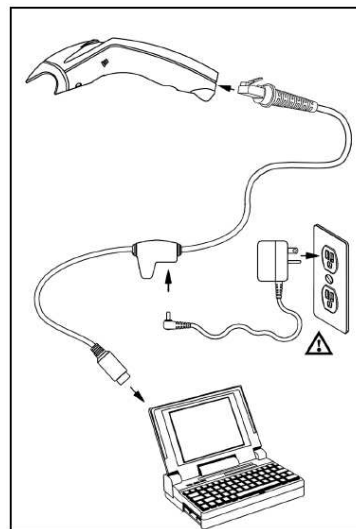



図 8 : スタンド・アローン・キーボード

取り付け説明

ホストシステムから MS5145-47 スキャナに直接電力が供給されている場合、スキャナもしくはコンピュータの作動に電波障害が発生することがあります。全てのコンピュータがキーボード・ポートを通じて同一の電流を供給しているわけではありません。従って、あるコンピュータではスキャナが作動しても、他のコンピュータでそれが作動するとは限りません。外部からの電源アダプタが必要な場合は、お近くの販売事務所にお問い合わせ下さい。

 5 ページの注意事項をお読みください。

USB:低速 USB (-38)

全速 USB (-40)

1. ホストシステムの電源を切ってください。
2. USB ケーブルの 10 ピン RJ 45 コネクタをスキャナのジャックに接続します。ケーブルが正しく挿入されると、クリック音が聞こえます。
3. USB ケーブルのもう一方のコネクタをホストの USB ポートに接続してください。
4. ホストシステムの電源を ON にしてください。

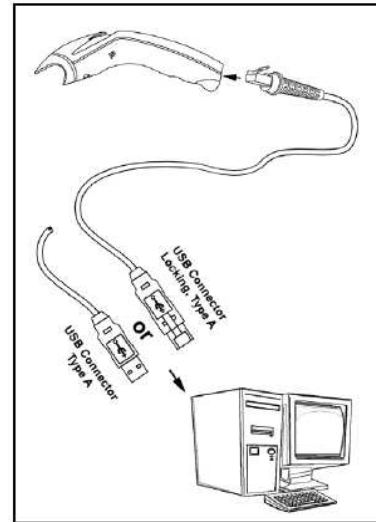



図 9 : USB

取り付け説明

- MS5145-38 は、USB キーボード・エミュレーション・モードを有効にした状態で工場出荷されます。
- MS5145-38 をシリアル・エミュレーション・モードに設定する場合は、MetroSelect Single-Line Configuration Guide の USB セクションを参照してください。
- スキャナをホストシステム上のシリアル・ポートに差し込んだとしても、読取られた情報がホストシステムに正しく伝送されることが保証されるわけではありません。スキャナは全て工場側によりデフォルトに設定されています。工場側が設定したデフォルトを変更する場合は、MetroSelect Single-Line Configuration Guide または MetroSet2 のヘルプを参照してください。スキャナとホストシステムは同じ通信プロトコルを使用しなければなりません。

 5 ページの注意事項をお読みください。

スキャナの操作

操作モード

CodeGate® : スタンドから外した状態

- ・ CodeGate はスタンドから離すと起動します。
- ・ ボタンを押すと、バーコード・データが転送されます。

マニュアル・アクティベーション・モード : スタンドから外した状態

- ・ ボタンを押すと、レーザーが作動します。
- ・ ボタンを押し続けると、バーコードがスキャンされて転送されます。

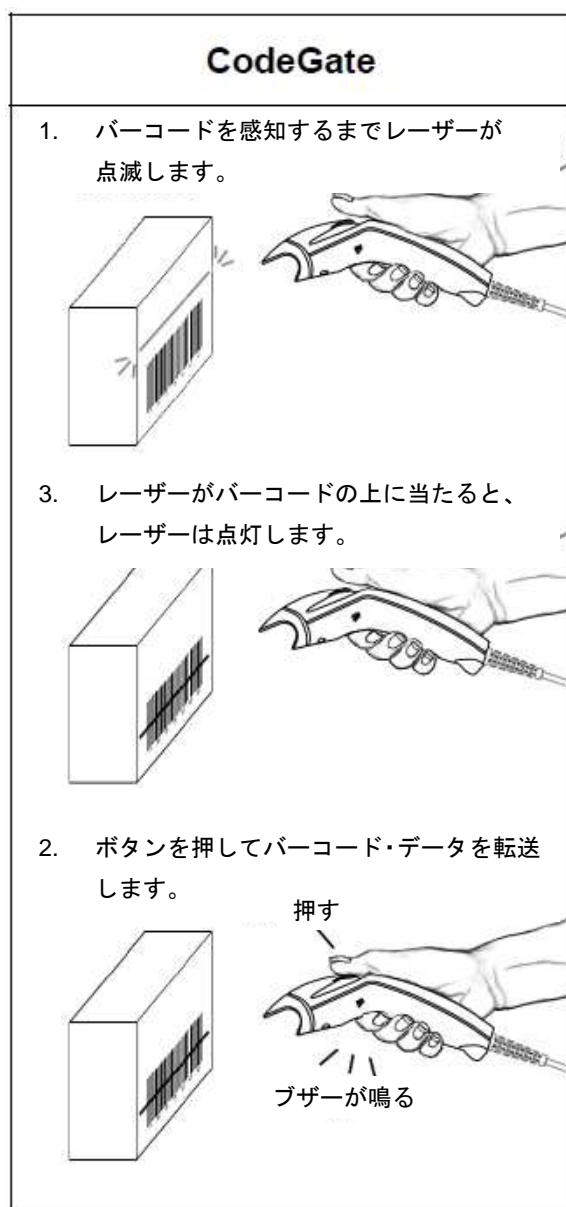


図 10 : CodeGate

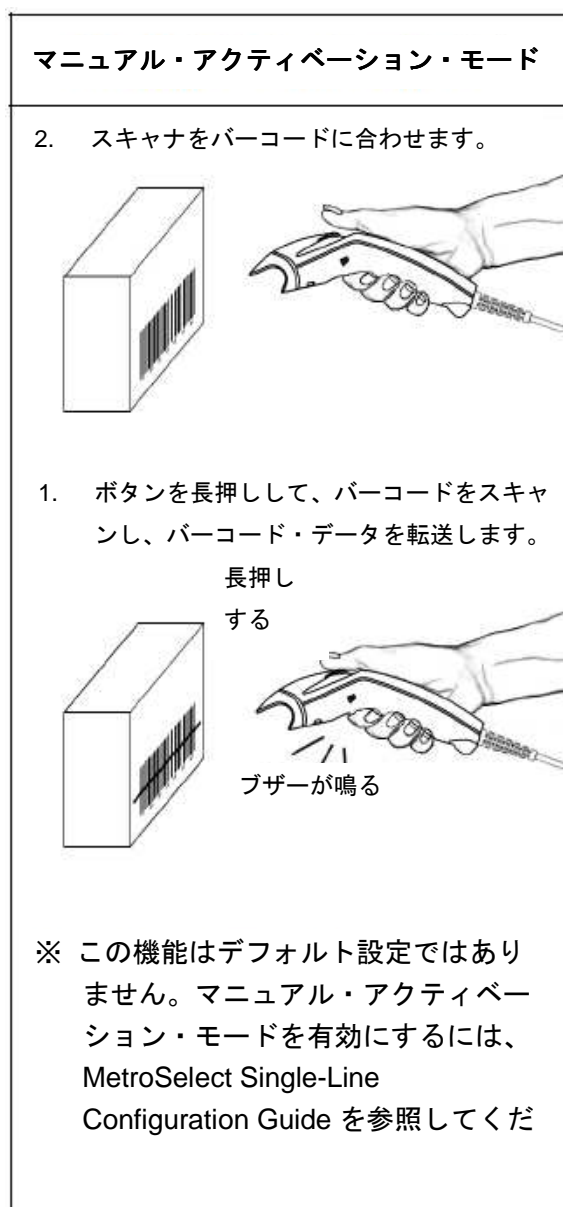


図 11 : マニュアル・アクティベーション・モード

音声インジケータ

MS5145 スキャナは操作中に音声によるフィードバックを行い、スキャナの状態を示します。8 種類（通常の音、6 種類の交互音、及びブザー音なし）の設定が可能です。ブザー音の変更は MetroSelect Single-Line Configuration Guide をご参照ください。

起動時の 1 回のブザー音

最初にスキャナに電源が入った時、緑色の LED が点灯し、赤色の LED が点滅してスキャナは一回だけブザー音を鳴らします。これでスキャンの準備ができました。

動作中に 1 回のブザー音

スキャンがバーコードを正常にスキャンすると赤色の LED が点滅し、スキャナは一回のブザー音を鳴らします（設定がそのようにプログラムされていた場合）。スキャナがブザー音も鳴らさず、赤色の LED も点灯しない場合、バーコードは正常にスキャンされていません。

動作中に 3 回のブザー音

プログラム・モードに入った時、スキャナは 3 回のブザー音を鳴らして赤色の LED を点滅させます。赤色の LED はプログラム・モードを終了するまで点滅状態を続けます。プログラム・モードを終了すると、スキャナは 3 回ブザー音を鳴らして赤色の LED は点滅しなくなります。ただし、スキャナが通信タイムアウトに設置されている場合、作動中における 3 回のブザー音の鳴動は通信タイムアウトを表示するものです。

パワーアップの時のブザー音

故障の表示です。本書 16 ページにある「故障モード」を参照してください。

異常音

故障モード、あるいは設定モード中に無効なバーコードをスキャンした場合に鳴ります。本書の 16 ページにある「故障モード」を参照してください。

視覚インジケータ

MS5145 の上面には赤色および緑色の LED が搭載されています。スキャナの電源がオンの時、LED は現在のスキャン状態とスキャナの状態を表示します。

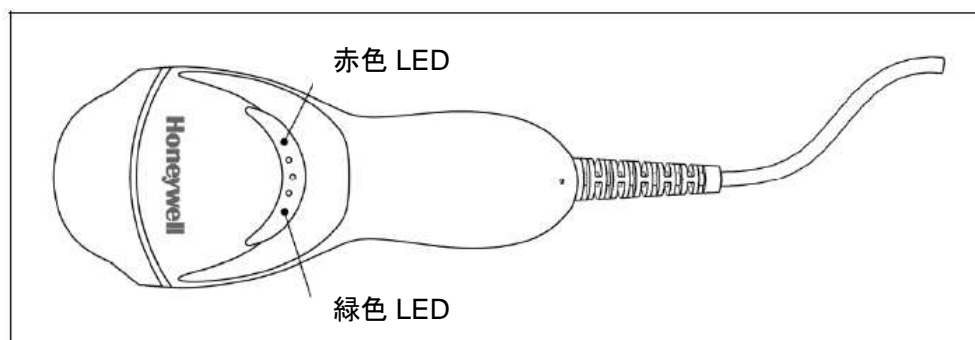


図 12 : LED の色と位置

緑色と赤色の LED がオフの時

ホストや AC アダプタからスキャナに電源が供給されていない時には LED は点灯しません。

一定した緑色

これは通常のパルスもしくは連続レーザーの操作を示しています。異常音がそれに伴う場合、読み取ったバーコードが無効であることを意味します。

点滅する緑色

しばらくバーコードを読み取らない場合、レーザーの点滅間隔時間が短くなります。その場合、緑色 LED が点滅します。これはスキャナがパワー・セーブ・モードに入っていることを示しています。バーコードがレーザーの読取範囲内に再び入った場合、スキャナは起動し、再び通常のパルス・モードとなります。

一定の緑色と 1 回の赤色の点滅

スキャナがバーコードを正常に読み取った場合は、赤色 LED が短く点滅し、ブザー音が鳴ります。赤色 LED が点滅もせず、ブザー音も鳴らない場合、バーコードは正常に読み取られていません。

一定の緑色と一定の赤色

バーコードが正常に読み取られた後、スキャナはデータをホストシステムに転送します。通信モードによっては、ホストシステムがデータの受信準備ができているかどうかをスキャナに通知する必要があります。ホスト側のデータ受信準備ができていない場合、データ送信が終了するまで赤色の LED が点灯したままになっています。

一定の緑色と連続的に点滅する赤色

プログラム・モードに入っている場合、赤色 LED が点滅し、緑色 LED が点灯します。そしてスキャナは 3 回ブザー音を鳴らします。プログラム・モードが終了するまで赤色 LED は連続的に点滅し、緑色 LED は点灯状態を続けます。

故障モード

パワーアップ時 1 回の異常音

これはスキャナのレーザーかフリッパー（回転軸）のサブ・システムに故障が生じたことを示します。ハネウエル認定の修理サービスセンターにスキャナを返送してください。

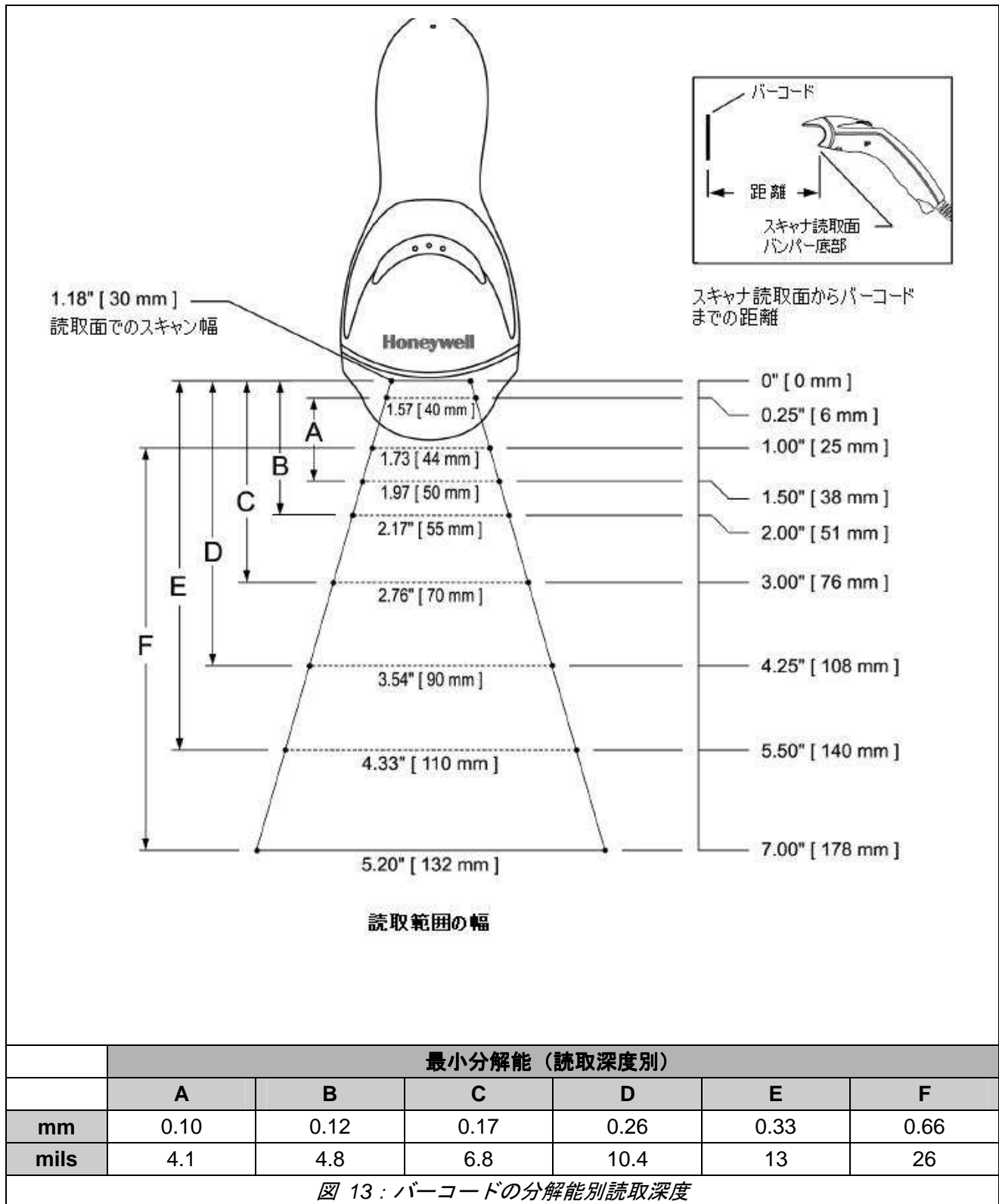
連続的な異常音とすべての LED がオフ

パワーアップした後、スキャナが連続的な異常音を発している場合はスキャナに電子的な故障が生じていることを示します。修理が必要ですので、ハネウエル認定の修理サービスセンターにスキャナを返送してください。

パワーアップ時 3 回のブザー音

電源をオンにした後スキャナが 3 回ブザー音を鳴らした場合は、スキャナの設定を保持している不揮発性メモリ（NOVRAM）に不具合が生じていることを示します。修理が必要ですので、ハネウエル認定の修理サービスセンターにスキャナを返送してください。

バーコード分解能別読取深度



トラブルシューティング・ガイド

下記は参照資料です。限定保証についてはお近くの販売事務所にお問い合わせ下さい(35 ページ参照)。

症状	推定原因	解決策
すべてのインターフェース		
LED、ブザー音、レーザー全て作動しない	スキャナに電源が入っていない。	AC アダプタ、コンセント、アダプタ・プラグ等をチェックし、ケーブルが正しくスキャナに差し込まれているかを確認してください。
	ホストからスキャナに電源が供給されていない。	ホストがスキャナを起動するに十分な電流を供給できていない可能性があります。AC アダプタを必要としているかもしれません。
起動時に 2 回のブザー音が鳴り、LED が点灯する	ROM の不具合	フラッシュ ROM のアップグレードが必要です。
起動時に 3 回のブザー音	不揮発性メモリ (NOVRAM) の不具合	お近くの販売事務所、カスタマーサービスにお問い合わせ下さい。
起動時に連続的に異常音が出る	不具合の兆候	
起動時にブザー音が鳴り、緑色 LED が点滅	VLD の不具合	
起動時にブザー音が鳴り、二つの LED が点滅	スキャン・メカニズムの不具合	
読取および通信はするが、ブザーが 2 回鳴る	同一シンボル・タイムアウトの設定時間が短すぎる	同一シンボル・タイムアウトの設定時間をより長く調整してください。
スキャナの電源は入るが、ブザーは鳴らない	ブザー音が無効になっているか、音調が選択されていない	ブザー音を有効にして音調を選択してください。

症状	推定原因	解決策
スキャナは起動するが読取らない、またブザー音も鳴らない	読取が無効になっているバーコードを読取ろうとしている	UPC/EAN、Code39、Interleaved2 of5、Code93、Code128およびNW7はデフォルト時に読取有効になっています。読み取るバーコード体系が読取有効になっているか確認してください。
	読み取ったバーコードがユーザーによって事前に設定された条件（読取桁数指定や最小読取桁数）を満たしていない、	読み取ったバーコードが設定内容に準じているか確認してください。 デフォルト時の最小読取桁数は 3 桁に設定されています。
TTL RS232 インターフェースおよびUSB シリアル・エミュレーション・モード		
スキャナはバーコードを読み取るが、1 回目の読み取り後にロックされ、また赤色 LED が点灯し続ける	スキャナがある種のホストシステムのハンドシェーキングに対応するよう設定されているが、信号を受信していない	スキャナが ACK/NAK、RTS/CTS、XON/XOFF または D/E に対応するよう設定されている場合、ホストシステムとケーブルが適切にハンドシェーキングに対応しているか確認してください。
バーコードを読み取るが、ホストに転送されるデータが正しくない	スキャナのデータ・フォーマットがホストシステムの条件と合っていない	スキャナのデータ・フォーマットがホストシステムの要求する条件と一致しているか確認してください。スキャナが適切なホストのポートに接続されているかも確かめてください。
あるバーコードの読み取り時にブザー音が鳴るが、同じコード体系でも他のバーコードにはブザー音が出ない	バーコードの印刷品質に問題がある	チェック・デジット、キャラクタ、またはボード一設定に問題があるかもしれません。
	読み取ったバーコード体系に合わせてスキャナが設定されていない	
	最小読取桁数設定が読み取ったバーコード体系に効いていない	最小読取桁数が正しく設定されているか確認して下さい。
キーボード・ウェッジ・インターフェース		
バーコードを読取るが、データが表示されない	スキャナに適切な設定がなされていない	スキャナに適切な通信モードが設定されているか確認してください。

症状	推定原因	解決策
バーコードを読取る が、データが正しくな い	スキャナに適切な設定 がなされていない	適切な PC タイプ (AT、PS2、XT) が選択され ているか確認してください。正しい国コードとデ ータ・フォーマットを確認してください。また、 インターキャラクタ・ディレイを調整してくださ い。
各キャラクタを 2 回ず つ転送する	スキャナに適切な設定 がなされていない	インタースキャン・コード・ディレイを長めに設 定してください。F0 ブレークが転送されてい るか調整してください。もしくはこれら両方の設定 を試す必要があります。
アルファベットのキャ ラクタが小文字になる	コンピュータが Caps Lock モードになってい る	スキャナの Caps Lock 検知設定を有効にし、PC が Caps Lock で動作しているか検知してくださ い。
すべて正常に動作する が、あるキャラクタに だけ問題がある	その国のキーボードが 問題のあるキャラクタ に対応していない	スキャナを Alt モードで操作してみてください。
RS232 インターフェース		
起動および読取に問題 はないが、ホストと適 切に通信しない	ホストの COM ポート が作動していないか、 正しく設定されていな い	スキャナのボーレート、パリティ等が合っている か確認し、正しいポートに接続されているか確か めてください。また、プログラムが RS232 のデ ータを要求しているかも確認してください。
	ケーブルが適切な COM ポートに接続さ れていない	スキャナがホストの適切な COM ポートに接続さ れているのを確認してください。
ホストはデータを受信 するが、正確なデータ ではない	スキャナとホストが同 一のインターフェー ス・パラメータに設定 されていない	スキャナとホストが同一のインターフェース・パ ラメータに設定されているか確認してください。
キャラクタが欠落する	インターキャラクタ・ ディレイを転送出力キ ャラクタに設定する必 要がある	MetroSelect Single-Line Configuration Guide を 使って、転送出力キャラクタにインターキャラク タ・ディレイを加えてください。

製品仕様

一般性能

光源 :	可視光半導体レーザー (VLD) @ 650nm	
レーザー・パワー :	1.0mW 以下	
読取深度 :	0 mm – 140 mm (0" – 5.5")	0.33 mm (13mil)/バーコード
読取速度 :	72±2 スキャン/秒	
スキャン・パターン :	シングル・ライン・スキャナ	
最小分解能 :	0.089 mm (3.5mil)	
読取シンボル :	すべての汎用的な 1 次元バーコードを読取可能 その他のシンボルについてはお近くの販売事務所にお問い合わせ下さい。	
インターフェース :	RS232、キーボード・ウェッジ、USB、ライトペン・エミュレーション、スタンド・アローン・キーボード、RS485	
最小シンボルコントラスト :	35%	
読取桁数 :	最大 80 桁 (ただし、実際の最大桁数はバーコードとその密度により変化します)	
回転/ピッチ/首振	38°/67°/52°	
音声インジケータ :	7 種類のブザー音及びブザー音なし	
表示インジケータ (LED) :	赤色=正常読取	
	緑色=レーザー・オン、読取準備完了	

機械的仕様

	長さ	170 mm (6.7")
幅	頭部 :	63 mm (2.5")
	ハンドル部 :	39 mm (1.5")
高さ	頭部 :	35 mm (1.4")
	ハンドル部 :	31 mm (1.2")
	重量 :	100.8 g (3.56 オンス)

仕様は予告無く変更される場合があります。

電氣的使用

入力電圧 :	5VDC±0.25V	
電力 :	動作時	675 mW
電流 :	操作時	135 mA @5VDC
DC 変圧器 :	Class II ; 5.2VDC @ 1A	
遵守すべき情報は 37-39 ページをお読みください		

環境条件

温度 :	動作時 :	0°C~40°C
	保存時 :	-40°C~60°C
湿度 :	5%~95% (結露無き事)	
許容背景光 :	最大 4842 ルクス	
衝撃 :	1.5mの高さから落下しても正常に動作すること。	
環境シールド :	空気中の浮遊物質から保護	
換気装置 :	必要なし	

仕様は予告無く変更される場合があります。

アプリケーションとプロトコル

各スキャナのモデル・ナンバーにはスキャナの番号や工場出荷時のデフォルト設定プロトコルが含まれています。

スキャナ	バージョン	通信プロトコル
MS5145	00	レーザー・エミュレーション
	11	RS485、RS232-TXD、RXD、RTS、CTS
	38	低速USB (キーボード・エミュレーションまたはシリアル・エミュレーション)
	40	全速力USB
	41	RS232/ライトペン・エミュレーション
	47	キーボード・ウェッジ
	48	キーボード・ウェッジ、スタンド・アローン、キーボード

MS5145 キーボード・ウェッジ・シリーズ (—47) はキーボードのエミュレーションにのみ対応しています。ハネウエルの他のスキャナと同じように、RS232 で設定可能な機能はキーボード・ウェッジでも使用することができます。

下記は、キーボード・ウェッジに関わる最も重要な選択可能オプションです。

キーボード種類

- **AT (IBM®PS2 モデル 50, 55, 60, 80 を含む)
- IBM PS2 (30, 70, 8556 モデルを含む)

国別のキーボード

- **米国
- ベルギー
- フランス語
- ドイツ語
- ハンガリー語
- イタリア語
- 日本語
- ロシア語のシリル
- スロベニア語
- スペイン語
- スイス語
- スウェーデン語/フィンランド語
- トルコ語
- 英語

** はデフォルト設定を示します。デフォルト設定を変更する場合は、MetroSet2 のヘルプ・ファイルや MetroSelect Single-Line Configuration Guide、または Area-Imaging Supplemental Configuration Guide を参照してください。

設定とアップグレード

設定モード

MS5145 Eclipse の設定モードは、三種類あります。

- **バーコード**

MS5145 Eclipse は MetroSelect® Single-Line Configuration Guide 記載のバーコードをスキャンすることで設定を変更することができます。このガイドはハネウエルのウェブサイトでダウンロードできます (www.honeywellaidc.com)

- **MetroSet®2**

設定したい項目を「ワンタッチ」でクリックするだけでスキャナを設定できる、Windows®をベースにした使いやすい設定プログラムです。MetroSet2 はハネウエルのウェブサイトでダウンロードできます (www.honeywellaidc.com)。

- **シリアル・プログラム**

この設定モードは主に OEM 製品に適しています。シリアル・プログラム・モードを使用することで、ホストシステムのシリアル・ポートを通じてシリアル・コマンドを送信できます。これらコマンドは MetroSelect® Single-Line Configuration Guide 記載の設定バーコード下に表示されている数列と同じです。

シリアル・プログラムの手順

1. スキャナに送信されたコマンドは、設定バーコードを ASCII キャラクタで表現したものです。数列全体が ASCII の [stx]と ASCII の [etx]の間に入力されます。

例 1 :

Codabar を停止するコマンド :

コマンド=[stx]100104[etx]

スキャナまで送信=02h 31h 30h 30h 31h 30h 34h 03h

※ すべての数値を十六進数とする。

2. スキャンに送信されたコマンドが有効になっている場合、スキャナは「ack」を返信します。
3. スキャンに送信されたコマンドが無効になっている場合、スキャンは「nak」を返信します。
Note : この場合、ユーザーは設定を最初からやり直す必要があります。無効なコマンドを再送信しても作動しませんので、最初からもう一度やり直して下さい。

4. 設定の間、モータやレーザーをオフにします。シリアル・プログラム・モードの状態ではバーコードをスキヤンできませんので注意して下さい。
5. コマンドの間に 20 秒ウィンドウが開き、コマンドを入力することができます。20 秒のタイムアウトが切れると、スキヤナが「nak」と返信し、設定を最初からやり直ししなければなりません。
6. シリアル・プログラム・モードを開始する場合は、下記のコマンドを送信してください。
[stx]999999[etx]
7. シリアル・プログラム・モードを終了する場合は、下記のコマンドを送信してください。
[stx]999999[etx]
この場合、スキヤナはブザー音を三回鳴らし、「ack」と返信します。
8. このモードはスキヤナに設定されたボーレート、パリティ、ストップビットやデータビットの設定を使用します。スキヤナのデフォルト設定はボーレート 9600、パリティ スペース、ストップビット 2、データビット 7 です。スキヤナにコマンドを送信していずれの設定値を変更しようとする場合、シリアル・プログラム・モードを終了しない限り変更が有効になりませんので、注意して下さい。

例 2 :

下記のようにスキヤナをデフォルト設定にして、Code 128 のスキャン禁止、ブザーの音調変更、そして設定可能な接頭記号に「G」の付加を設定します。

特徴	ホスト・コマンド	ASCII 表示	スキヤナ応答
設定モードの開始	[stx]999999[etx]	02h 39h 39h 39h 39h 39h 39h 03h	[ack] 又は 06h
デフォルト設定をロード	[stx]999998[etx]	02h 39h 39h 39h 39h 39h 38h 03h	[ack] 又は 06h
Code 128 のスキャン禁止	[stx]100113[etx]	02h 31h 30h 30h 31h 31h 33h 03h	[ack] 又は 06h
音調変更 1	[stx]318565[etx]	02h 33h 31h 38h 35h 36h 35h 03h	[ack] 又は 06h
接頭記号 #1	[stx]903500[etx]	02h 39h 30h 33h 35h 30h 30h 03h	[ack] 又は 06h
コードバイト 0	[stx]0[etx]	02h 30h 03h	[ack] 又は 06h
コードバイト 7	[stx]7[etx]	02h 37h 03h	[ack] 又は 06h
コードバイト 1	[stx]1[etx]	02h 31h 03h	[ack] 又は 06h
設定モードの終了	[stx]999999[etx]	02h 39h 39h 39h 39h 39h 39h 03h	[ack] 又は 06h

※ スキヤナはブザー音を三回鳴らします。

スキヤナに送信されたコマンドには、MetroSelect Single-Line Configuration Guide記載のバーコードの先頭に上付けされている小さな数字 3⁽³⁾ は必要ありません。この“小さな3”⁽³⁾ はただコードタイプの指定にのみ用いられますので、送信しないでください。

追加で複数の設定バーコードをスキャンするコマンド（例：接頭記号、接尾記号、タイムアウトなど）については、通常設定バーコードをスキャンする順序に従ってコードバイトを送信してください。

例 3 :

下記は無効なバーコードが送信された場合を示します。この例では、デフォルト設定からボーレートを 19200 に変更します。

特徴	ホストコマンド	ASCII表示	スキャナ応答
設定モードの開始	[stx]999999[etx]	02h 39h 39h 39h 39h 39h 39h 03h	[ack] 又は 06h
デフォルト設定をロード	[stx]999998[etx]	02h 39h 39h 39h 39h 39h 3Ah 03h	[nak] 又は 15h
無効なコマンドが送信されたので、最初からやり直しなければなりません。			
設定モードの開始	[stx]999999[etx]	02h 39h 39h 39h 39h 39h 39h 03h	[ack] 又は 06h
デフォルト設定をロード	[stx]999998[etx]	02h 39h 39h 39h 39h 39h 39h 03h	[ack] 又は 06h
ボーレート 19200	[stx]415870[etx]	02h 34h 31h 35h 38h 37h 30h 03h	[ack] 又は 06h
設定モードの終了	[stx]999999[etx]	02h 39h 39h 39h 39h 39h 39h 03h	[ack] 又は 06h
スキャナはブザー音を三回なります。			

この例では、重要ポイントが2つあります。

まず、無効なコマンドがホストから送信されるとスキャナは「nak」で応答し、ユーザーは最初からやり直ししなければなりません。

そして、ボーレート変更のためコマンドを送信する場合、設定モードを終了しない限り、新しいボーレート設定は有効になりません。

ASCIIコード表

文字	十六進数	十進数
[STX]	02h	2
[ETX]	03h	3
[ACK]	06h	6
[NAK]	15h	21
0	30h	48
1	31h	49
2	32h	50
3	33h	51
4	34h	52
5	35h	53
6	36h	54
7	37h	55
8	38h	56
9	39h	57

ファームウェアアップグレード

MS5145 Eclipse は、フラッシュでファームウェアをアップグレードできる製品です。アップグレードするには、カスタマー・サービスセンター♦から新しいファームウェアとハネウエルの MetroSet2 設定ソフトウェア♦♦を入手する必要があります。また、Windows 95 またはそれ以上の OS を搭載し、RS232C シリアル・インターフェースか USB ポートを持っているコンピューターが必要です。

Note : RS232 でアップグレードを行う場合、PowerLink ケーブル (#54-54014) が必要です。このケーブルを追加注文する際は、お近くの販売事務所にお問い合わせください。キーボード・ウェッジまたは RS485 スキャナインターフェース一式に同梱されている標準ケーブルを使用しないでください。USB でアップグレードする場合は、一式に同梱されている標準 USB ケーブルを使用できません。

MS5145 ファームウェアのアップグレード方法 :

1. スキャナをホストシステムのシリアル通信ポートに接続します。
2. MetroSet2 設定ソフトウェアを起動します。
3. 『POS Scanner』隣の (+) をクリックして、スキャナのリストを開いて下さい。
4. リストから 『MS5145 Eclipse』 を選択します。
5. 『Configure Eclipse/5145Scanner』 ボタンをクリックしてください。
6. 画面左側にあるオプション・リストから、『Flash Utility』 を選択します。
7. 『Flash Utility』 ウィンドウの 『Open File』 ボタンをクリックします。
8. フラッシュ・アップグレード・ファイルの位置を指定して開きます。
9. ホストシステムに接続されているスキャナのシリアル通信 (COM) ポートを選択します。
10. 『Flash Utility』 ウィンドウで設定を検証します。
11. 『Flash Scanner』 ボタンをクリックし、フラッシュ・アップグレードを開始します。
12. アップグレードが完了すると、画面にメッセージが表示されます。

- ♦ 45 ページの問い合わせ先をご覧ください。
- ♦♦ ハネウエルのウェブサイト (www.honeywellaidc.com) から MetroSet2 を無料でダウンロードできます。

スキャナとケーブル端末

スキャナ・コネクタのピン割り当て

MS5145 スキャナ・コネクタの端末は 10 ピンのモジュラージャックになっています。シリアルナンバーラベルにはスキャナが対応しているインターフェースを示しています。

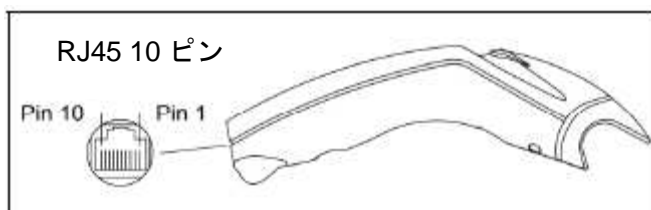


図 14

MS5145-41 RS232 および ライトペン・エミュレーション	
ピン	機能
1	アース
2	RS232 送信
3	RS232 受信
4	RTS 出力
5	CTS 入力
6	DTR 入力/LTPN ソース
7	保留
8	LTPN データ
9	+5VDC
10	シールド・アース

MS5145-47 キーボード・ウェッジおよび スタンド・アローン・キーボード	
ピン	機能
1	アース
2	TTL RS232 送信 出力
3	TTL RS232 受信 入力
4	PC データ
5	PC クロック
6	KB クロック
7	PC +5V
8	KB データ
9	+5VDC
10	シールド・アース

MS5145-11 RS485	
ピン	機能
1	アース
2	TTL RS232 送信 出力
3	TTL RS232 受信 出力
4	RTS 出力
5	CTS 入力
6	DTR 入力
7	IBM B- 送信
8	IBM A+ 受信
9	+5VDC
10	シールド・アース

スキャナ・コネクタのピン割り当て

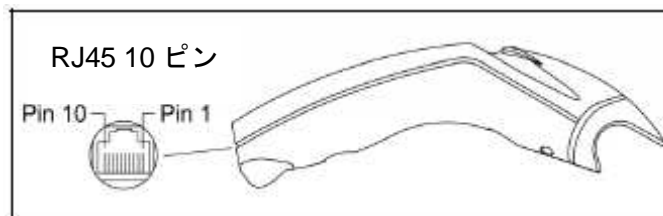




図 15.

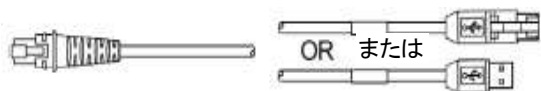

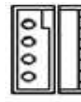
MS5145-00 レーザー・エミュレーション	
ピン	機能
1	アース
2	RS232 送信 出力
3	RS232 受信 入力
4	回転感応/スキャナ出力の開始
5	近似検知/ トリガー・エミュレーション出力
6	スキャナ/レーザー作動の入力
7	保留
8	データ アウト
9	+5VDC
10	シールド・アース

MS5145 全速力 (-40) と低速 (-38) USB	
ピン	機能
1	アース
2	未接続
3	未接続
4	未接続
5	未接続
6	D+
7	PC +5V/V_USB
8	D-
9	未接続
10	ドレイン線



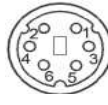
ケーブル・コネクタのピン割り当て

RS232 PowerLink ケーブル 55-55000 x-3		 <p>Dタイプ 9ピン・コネクタ</p>
ピン	機能	
1	アース	
2	RS232 送信 出力	
3	RS232 受信 入力	
4	DTR 入力/ライトペン・ソース	
5	電源/信号アース	
6	ライトペン・データ (RS232C インターフェース (-14) 用 DSR 出力)	
7	CTS 入力	
8	RTS 出力	
9	+5VDC	


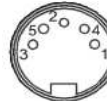

スタンド・アロン・キーボード PowerLink ケーブル 55-55020 x-3		 <p>9ピン ミニDIN オス</p>
ピン	機能	
1	PC データ	
2	未接続	
3	電源アース	
4	+5VDC PC から KB へ電力	
5	PC クロック	
6	未接続	

USB 通信 55-55235 x-N-3 または 55-55200 x-N-3			
ピン	機能		
1	PC +5V/V_USB	 <p>ロックなし タイプ 54-54214 x-N-3</p>	 <p>ロックあり タイプ A 54-54213 x-N-3 または 54-54214 x-N-3</p>
2	D-		
3	D+		
4	アース		
シールド	シールド		

ケーブル・コネクタのピン割り当て

キーボード・ウェッジ PowerLink ケーブル 55-55002A-3		
ピン	機能	 5 ピン DIN メス
1	キーボード・クロック	
2	キーボード・データ	
3	未接続	
4	電源アース	
5	+5VDC	
ピン	機能	 6 ピン DIN オス
1	PC データ	
2	未接続	
3	電源アース	
4	+5VDC	
5	PC クロック	
6	未接続	

ハネウェルは、一方に5ピン DIN オス・コネクタがつき、他方に6ピン ミニDIN メス・コネクタのついているアダプター・ケーブルを提供します。使用しているホストシステムに合わせて、アダプター・ケーブルの適切なコネクタをPowerLink ケーブルに接続し、キーボードおよびPCのキーボード・ポートの接続に必要な方を残してください。

キーボード・ウェッジ・アダプター・ケーブル		
ピン	機能	 5 ピン DIN オス
1	PC クロック	
2	PC データ	
3	未接続	
4	電源アース	
5	+5VDC	
ピン	機能	 6 ピン ミニDIN メス
1	キーボード・データ	
2	未接続	
3	電源アース	
4	+5VDC	
5	キーボード・クロック	
6	未接続	

限定保証

Honeywell International Inc. (HII) は、その製品および付属品が材料、ワークマンシップ及び設計に欠陥のないことを保証し、納品までハネウェル会社が公布し仕入れた製品の仕様を遵守します。ただ、本保証には下記に述べたいかなるハネウェル会社の製品を含まない：(i) 間違った取り付けや使用、(ii) 遵守すべき適宜な守りや検査および定期的な清掃などを含む事故または突発的な過失による破損、(iii) (A) 購入者または他の方による製品の変更および改変の結果発生した破損、(B) インターフェース接続から引き込まれたまたは供給された過剰電圧または電流による故障、(C) 静電または静電放電による不具合、(D) 仕様書に規定された作業パラメーターを超えた条件下での操作による不具合、または (E) HII または認定サービスセンター以外の機関による製品修理や保守の結果発生した破損。

品質保証は製品購入時に HII が公布した製品保証期限に従って製品出荷時から有効となります（保証期間）。保証期間内に製品に欠陥が発生した場合、HII または認定サービスセンターに製品購入者の運送料金負担で返送し、検査を受けなければなりません。HII 発行の RMA 番号（Return Material Authorization 商品返品番号）が無く返品された場合、HII はいかなる物品も受け付けません。製品がその保証期間内に HII または認定サービスセンターに返送され、かつ HII によってその欠陥が材料ないしワークマンシップに起因するものであると決定した場合、HII は製品を無料で修理するか欠陥商品に替わる物を提供します（HII までの運送料金は除く）。

適用法令で規定されている場合を除いて、口頭または書面による表現または暗示に関わらず、前述の保証はすべての契約または保証に代わるものです。また、それは特定目的における商品性または適合性の黙示保証、または他の権利を侵害しないことを含めて、例外なく除外します。

本限定保証書に記載された HII の責務および購入者唯一の救済方法は新規または修繕された部品を使用して行われた欠陥製品の修理または置換に限ります。HII はいかなる場合も、間接的または突発的な破損に対して責務を負いません。また、HII はこの記載に従い販売されたすべての製品に起因した責務を負わず、製品に対して HII に支払われた金額以上の責務を負いません（その債務は契約や保証、権利侵害行為または他の原因によるクレームも含みます。）これら責務に関する制限は、例え HII がケガ、紛失、または破損の可能性を示唆されたときでも全力かつ効果的に維持されます。州、県および国によっては突発的または間接的な損害の排除・限定を禁止しており、上述の制限は適用されません。

本限定保証におけるすべての規定は独立かつ分離可能であり、即ち、いかなる条項が無効または執行不可能とされた場合でも、その決定は他の条項の有効性や執行性に影響しないものとします。製造者以外が供給する周辺装置の使用は本限定保証の対象外となる損害を及ぼす可能性があります。これは、ケーブル、電源アダプタ、クレードル、ドッキング・ステーションを含みますが、これだけに限定されません。HII は製品の第一エンド・ユーザーにのみ適用します。本限定保証は譲渡不可能とします。

MS5145 の限定品質保証期間は3年間とします。付属品の限定品質保証期間はその製造日から90日間とします。

法的遵守

安全性

ITE 装置

IEC 60950-1, EN60950-1

レーザー

レーザークラス 1 :

IEC 60825-1 : 1993+A1+A2,

EN 60825-1:1994 +A1+A2

CLASS 1 LASER PRODUCT
APPAREIL A LASER DE CLASSE 1
LASER KLASSE 1 PRODUKT
LASER CLASE 1 PRODUCTO



注意

本書に記載された以外の操作制御、調節、または手順の実行は、有害なレーザー光の露光を引き起こす恐れがあります。いかなる状況においてもレーザー・スキャナを修理しないでください。スキャナが作動していない場合でも、レーザー光を直接見ることは避けてください。スキャナを開けて内部装置を覗き込むことも避けてください。有害なレーザー光の露光を引き起こす恐れがあり、レーザー装置を備えた光学機器の使用は目に有害な影響を及ぼします。



Caution

Use of controls or adjustments or performance of procedures other than those specified herein may result in hazardous laser light exposure. Under no circumstances should the customer attempt to service the laser scanner. Never attempt to look at the laser beam, even if the scanner appears to be nonfunctional. Never open the scanner in an attempt to look into the device. Doing so could result in hazardous laser light exposure. The use of optical instruments with the laser equipment will increase eye hazard.



Atención

La modificación de los procedimientos, o la utilización de controles o ajustes distintos de los especificados aquí, pueden provocar una luz de láser peligrosa. Bajo ninguna circunstancia el usuario deberá realizar el mantenimiento del láser del escáner. Ni intentar mirar al haz del láser incluso cuando este no esté operativo. Tampoco deberá abrir el escáner para examinar el aparato. El hacerlo puede conllevar una exposición peligrosa a la luz de láser. El uso de instrumentos ópticos con el equipo láser puede incrementar el riesgo para la vista.



Attention

L'emploi de commandes, réglages ou procédés autres que ceux décrits ici peut entraîner de graves irradiations. Le client ne doit en aucun cas essayer d'entretenir lui-même le scanner ou le laser. Ne regardez jamais directement le rayon laser, même si vous croyez que le scanner est inactif. N'ouvrez jamais le scanner pour regarder dans l'appareil. Ce faisant, vous vous exposez à une rayonnement laser qui est dangereux. L'emploi d'appareils optiques avec cet équipement laser augmente le risque d'endommagement de la vision.



Achtung

Die Verwendung anderer als der hier beschriebenen Steuerungen, Einstellungen oder Verfahren kann eine gefährliche Laserstrahlung hervorrufen. Der Kunde sollte unter keinen Umständen versuchen, den Laser-Scanner selbst zu warten. Sehen Sie niemals in den Laserstrahl, selbst wenn Sie glauben, daß der Scanner nicht aktiv ist. Öffnen Sie niemals den Scanner, um in das Gerät hineinzusehen. Wenn Sie dies tun, können Sie sich einer gefährlichen Laserstrahlung aussetzen. Der Einsatz optischer Geräte mit dieser Laserausrüstung erhöht das Risiko einer Sehschädigung.



Attenzione

L'utilizzo di sistemi di controllo, di regolazioni o di procedimenti diversi da quelli descritti nel presente Manuale può provocare delle esposizioni a raggi laser rischiose. Il cliente non deve assolutamente tentare di riparare egli stesso lo scanner laser. Non guardate mai il raggio laser, anche se credete che lo scanner non sia attivo. Non aprite mai lo scanner per guardare dentro l'apparecchio. Facendolo potete esporvi ad una esposizione laser rischiosa. L'uso di apparecchi ottici, equipaggiati con raggi laser, aumenta il rischio di danni alla vista..

EMC

エミッション

FCC Part 15、ICES-003、CISPR 22、EN 55022

免責事項

CISPR 24、EN 55024

Note : 免責事項では、完全に伸ばした状態で長さ 3m 以上のスキャナ・ケーブルを保証しません。

法令順守の責務を負う者によって明確に承認されていない変更あるいは修正を加えた場合、ユーザーの本装置に対する操作権限が無効になります。

クラス A 装置

スキャナ・ケーブルが完全に伸ばした状態で長さが 3m 以上の場合、下記の各項が適用されます :

Les instructions ci-dessous s'appliquent aux cables de scanner dépassant 3 mètres (9.8 pieds) de long en extension maximale:

Folgendes trifft zu, wenn das Scannerkabel länger als 3 Meter ist:

本装置は試験の結果、FCC Part 15、クラス A デジタル装置の制限に準拠することが確認されています。これらの制限は、本装置が商業的な環境で使用される場合に有害な障害に対し適当な保護を与えるよう設計されています。無線周波数を発生、使用、および放射することができます。また、取扱説明書に従って装置の取り付けおよび使用されない場合、無線通信に有害な障害をもたらす可能性があります。装置の操作が有害な障害の原因になる可能性があります。その場合はユーザー自身でこの装置の電波障害を修正する必要があります。本装置に未承認の変更あるいは改変を加えた場合、ユーザーの本装置に対する操作権限が無効になります。

本装置はFCC Part 15 に準拠しています。本装置の操作は次の二つの条件に従うものとします：(1) 本装置は有害な電波障害を起こさない、(2) 仮に望ましくない電波障害が生じた場合でも、装置は受信した電波障害を受け入れなければならない。

通知

このクラス A デジタル装置はカナダの ICES-003 に準拠しています。

Remarque

Cet appareil numérique de classe A est conforme à la norme canadienne NMB-003.

ヨーロッパ基準

警告

これはクラス A の製品です。本装置は対象範囲内にて電波障害を引き起こす可能性があり、その場合ユーザー自身で適宜の解決措置を講じる必要があります。

Funkstöreigenschaften nach EN55022:1998

Warnung!

Dies ist eine Einrichtung der Klasse A. Diese Einrichtung kann im Wohnbereich Funkstörungen verursachen. In diesem Fall kann vom Betreiber verlangt werden, angemessene Massnahmen durchzuführen.

Standard Europeo

Attenzione

Questo e' un prodotto di classe A. Se usato in vicinanza di residenze private potrebbe causare interferenze radio che potrebbero richiedere all'utilizzatore opportune misure.

Attention

Ce produit est de classe "A". Dans un environnement domestique, ce produit peut être la cause d'interférences radio. Dans ce cas l'utiliseteur peut être amené à prendre les mesures adéquates.

法令順守の責務がある者によって明確に承認されていない変更あるいは改変を加えた場合、ユーザーのこの装置に対する操作権限が無効になります。

クラス B 装置

スキャナ・ケーブルが完全に伸ばした状態で長さが 3m以下（9.8 インチ）の場合、下記の各項が適用されます。

Les instructions ci-dessous s'appliquent aux cables de scanner ne dépassant pas 3 mètres (9.8 pieds) de long en extension maximale:

Folgendes trifft zu, wenn das Scannerkabel kürzer als 3 Meter ist:

本装置は FCC Part15 に準拠しています。本装置の操作には次の二つの条件に従うものとします：(1) 本装置は有害な電波障害を起こさない、(2) 仮に望ましくない電波障害が生じた場合でも、本装置は受信した電波障害も受け入れなければならない。

本装置は試験の結果、FCC Part 15、クラス B デジタル装置の制限に準拠することが確認されています。これらの制限は、本装置が商業的な環境で使用される場合に有害な障害に対し適当な保護を与えるよう設計されています。無線周波数を発生、使用、および放射することができます。また、取扱説明書に従って装置の取り付けおよび使用されない場合、無線通信に有害な障害をもたらす可能性があります。ただし、どの取り付け状態でも電波障害が起きないと保証することは出来ません。もしこの装置がオンとオフの切り替えによって無線およびテレビの受信に有害な電波障害を起こしている場合、下記の解決措置のいずれかを実行して、電波障害を解決して下さい。

- 受信アンテナの方向を変更するか、置き場所を変更する
- 装置と受信機の間隔をより大きく広く開ける
- 受信機が接続されているコンセントとは異なるコンセントに装置を接続する
- ディーラーもしくは経験豊かなラジオ・テレビの技術者に相談する

通知

このクラス B デジタル装置はカナダの ICES-003 に準拠しています。

Notice

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Remarque

Cet appareil numérique de classe B est conforme à la norme canadienne NMB-003.

特許

ハネウエル製品に次ぎに記載した一つ以上の米国特許でカバーされています。

米国特許番号

5, 216, 232 ; 5, 260, 553 ; 5, 340, 971 ; 5, 424, 525 ; 5, 484, 992 ; 5, 525, 789 ; 5, 528, 024 ;
5, 616, 908 ; 5, 627, 359 ; 5, 661, 292 ; 5, 777, 315 ; 5, 789, 730 ; 5, 789, 731 ; 5, 811, 780 ;
5, 828, 048 ; 5, 925, 870 ; 6, 029, 894 ; 6, 209, 789 ; 6, 227, 450 ; 6, 283, 375 ; 6, 347, 743 ;
6, 607, 133 ; 6, 619, 549 ; 6, 874, 689 ; 6, 975, 456 ; 6, 976, 632 ; 7, 017, 813 ; 7, 044, 383 ;
7, 124, 950 ; 7, 156, 310 ;

ライセンスまたはサブライセンスは、上記に記載の第三者の特許を含め、メトロロジック社、ハネウエル社および第三者の知的所有権（第三者の権利がメトロロジック社またハネウエル社にライセンス供与されているかどうか拘わらず）の下で、明示的にも、暗示的にも、禁反言等によっても、一切与えられません。ただし、物理的にユーザーの手に渡った製品によって表現され、同製品に含まれている個々の装置、回路、半導体を、メトロロジック社およびハネウエル社のライセンス権の程度にのみ、本書に記載の諸条件、規約および制限事項に従って、意図した通常の目的に使用するための暗黙的なライセンスは除きます。

その他にも世界的に特許を出願しています。

インデックス

A	
AC.....	1, 4, 5, 10, 15, 16, 25
C	
CodeGate.....	1, 3, 8
E	
EMC.....	i
R	
RS232.....	i, 1, 2, 1, 16, 17, 19, 21, 26, 27, 29, 30
RS485.....	i, 1, 2, 3, 19, 21, 26, 27
S	
SELV.....	4
U	
USB.....	i, 1, 2, 6, 16, 19, 21, 26, 29, 30
あ	
アプリケーションとプロトコル.....	21
か	
カスタマーサポート.....	44
技術サポート.....	44
製品修理サービス.....	45
き	
キーボード・ウェッジ.....	i, 1, 4, 16, 21, 26, 27, 32
基本キットの構成.....	1
け	
ケーブル.....	i, 1, 2, 3, 5, 1, 3, 4, 5, 6, 15, 16, 17, 26, 27, 30, 32, 34, 36, 39
取り付け.....	5, 1, 6
取り外し.....	5
限定保証.....	33
す	
スキャナとケーブル端末.....	27
ケーブル・コネクタのピン割り当て.....	30-32
スキャナ・コネクタのピン割り当て.....	27-29
スキャナの操作.....	8
音声インジケータ.....	9
故障モード.....	12
視覚インジケータ.....	10
操作モード.....	8
バーコード分解能別読取深度.....	13
スタンド・アローン・キーボード.....	1
せ	
製品仕様.....	19
設定とアップグレード.....	23
設定モード.....	23-25
ファームウェアのアップグレード.....	26
と	
特許.....	40
トラブルシューティング.....	15-17
取り付け.....	1
RS232C.....	1
RS485.....	3
キーボード・ウェッジ.....	4
スタンド・アローン・キーボード.....	5
全速 USB.....	6
低速 USB.....	6
ライトペン・エミュレーション.....	1
レーザー・エミュレーション.....	1
ふ	
ブザー音.....	9, 10, 11, 12, 15, 16, 19, 24, 25
ほ	
法令遵守.....	35
EMC.....	36
安全性.....	35
ま	
まえがき.....	1
オプション・アクセサリ.....	1-2
MS5145 各部名称と説明.....	3
ケーブルの取り付けと取り外し.....	5

製品概要.....	1
注意事項とシリアルナンバーラベル.....	4
メンテナンス	3

ら

ライトペン・エミュレーション	1, 27
----------------------	-------

れ

レーザー・エミュレーション	i, 1, 21, 29
---------------------	--------------

カスタマーサポート

技術サポート

お使いの製品の取り付けやトラブルシューティングにつきましては、下記のサービスセンターかお近くの販売代理店にお問い合わせ下さい。

北米/カナダ

Tel : (800) 782-4263

Email : hsmnasupport@honeywell.com

南米

Tel : (803) 835-8000

Tel : (800) 782-4263

Email : hsmlasupport@honeywell.com

ブラジル

Tel : +55 (21) 3535-9100

Fax : +55 (21) 3535-9105

Email : brsuporte@honeywell.com

メキシコ

Tel : (803) 835-8000

Email : latechsupport@honeywell.com

ヨーロッパ/中東/アフリカ

Tel : +31 (0) 40 7999 393

Fax : +31 (0) 40 2425 672

Email : hsmeurosupport@honeywell.com

香港

Tel : +852-29536436

Fax : +851-2511-3557

Email : aptechsupport@honeywell.com

シンガポール

Tel : +65-6842-7155

Fax : +65-6842-7166

Email : aptechsupport@honeywell.com

日本

Tel : +81-3-3839-8511

Fax : +81-3-3839-8519

Email : aptechsupport@honeywell.com

オンライン技術サービス・アシスタント

下記ウェブサイトでオンライン技術サービス・アシスタントにアクセスいただけます。

www.honeywellaidc.com

製品修理サービス

Honeywell International Inc.では世界中に点在するサービスセンターや販売代理店を通じて全製品のサポートを行っています。サービスの詳細につきましては下記のいずれかにお問い合わせいただき、製品の返却前に RMA 番号 (Return Material Authorization 商品返品番号) を取得して下さい。

北米/カナダ

Tel : (800) 782-4263

Email : hsmnasupport@honeywell.com

南米

Tel : (803) 835-8000

Tel : (800) 782-4263

Email : hsmlasupport@honeywell.com

ブラジル

Tel : +55 (21) 3535-9100

Fax : +55 (21) 3535-9105

Email : brsuporte@honeywell.com

メキシコ

Tel : (803) 835-8000

Email : latechsupport@honeywell.com

ヨーロッパ/中東/アフリカ

Tel : +31 (0) 40 7999 393

Fax : +31 (0) 40 2425 672

Email : hsmeurosupport@honeywell.com

香港

Tel : +852-29536436

Fax : +851-2511-3557

Email : aptechsupport@honeywell.com

シンガポール

Tel : +65-6842-7155

Fax : +65-6842-7166

Email : aptechsupport@honeywell.com

日本

Tel : +81-3-3839-8511

Fax : +81-3-3839-8519

Email : aptechsupport@honeywell.com

オンライン製品修理サービス・アシスタント

下記ウェブサイトでもオンライン製品修理サービス・アシスタントにアクセスしていただけます。

www.honeywellaidc.com

Honeywell Scanning & Mobility
90 Coles Road
Blackwood, NJ 08012



70-79016 Rev F
2009 年 9 月